



## 6期生最終成果報告会が開催されました!

2024年2月17日(土)、三重大学教職大学院6期生の2年間の学びの集大成となる「最終成果報告会」が開催されました。この日は、学内外からも多くの方に参加していただき、その成果報告を見届けていただくことができました。

報告者	テーマ
能見 理希	高等学校英語科における「話すこと(やり取り)」に関する研究 — TBLTを活かした授業づくりについて —
服部 小百合	特別な教育的支援が必要な通常学級在籍児童への指導・支援に関する研究 — 事例検討会を通して —
諸岡 知徳	子どもの学びを大切に「総合的な学習の時間」のカリキュラム・デザイン — 教師集団との協働によるアクション・リサーチを通して —
片山 有梨世	表現者を育てる描写文 — 子どもの文章に見いだす新たな価値 —
伊藤 美香	教育現場での有効な情報共有についての一考察 — 対話的Webサイトの活用を通じて —
林 直哉	教職大学院現職教員間の協働的な省察的实践プロセス ～ 授業者と観察者の二者間の関係性に着目して～
横田 幸大	シミュレーション教材PhETを媒介した探究的な学習に関する実践的考察 : 小学校第4学年理科「電流の働き」の実践を通して
川本 正祥	高等学校数学科における「条件付き確率・期待値」に関する授業研究 — モンティホール問題を題材として —
島本 姫佳	通常学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童への 支援や配慮に関する研究
岡田 有輝	中学校数学科における提示課題と日常生活に関する研究 — 「学びに向かう力」を喚起するために —
西田 紀香	小学校における対話を重視した学習活動
水谷 響	複式学級における学習支援の取り組みと工夫
樋田 有秋	高等学校数学教育における数学史の活用 ～ 先人はいかにして数学を創ったかを知る授業～
石井 紀行	小学校社会科における地域教材の開発と実践 — 「副読本」の活用方法に視点をあてて —
高林 拓斗	高等学校数学科における「活用する力」を育む授業実践 — 「数学的モデル化過程」を手掛かりとして —
井川 智嗣	人との出会いを紡ぐキャリア学習プログラムの実践的研究 — 高等学校の総合的な探究の時間を通して —
山田 陽斗	中学校数学科関数領域における誤答分析と生徒理解に基づく授業改善
橋本 佳典	生徒の記憶に残る高校生物の授業に関する研究 — “理科の魅力”を伝えるために —

## 報告を終えた6期生の感想を紹介します。

「研究に終わりはない」と報告会后に改めて思いました。なぜなら、自分を含めすべての研究で、残された課題が報告されていたからです。

今回の課題は新たな研究への道標だと感じます。教職大学院での研究は終わってしましますが、これから教師として働くことが研究のメインであると考えます。教職大学院の2年間で「理論と実践の往還」について学びましたが、これからはそれを活用していかなければいけない。そのように感じる報告会となりました。

自分一人の力で今に至ったわけではありません。同期の仲間、教授の方々、外部の方々に支えていただいて今回の報告会が行えました。この2年間、携わっていただいたすべての方々に深く感謝申し上げます。

教育実践力開発コース 教科教育高度化分野 岡田 有輝



2年間の教職大学院生活の中で一番大きな課題である成果報告書の作成はもちろん非常に悩ましく、困難なものでした。先ずテーマが定まらず、さらに先行研究が見つからず、どのように分析し、どのように結論付け、どのように書いていくのか。データありき、結果ありきの工学部出身の私にはストーリー性のある教育学部の論文は難しかったです。

しかし、その中で先生方や院生仲間に助けられ、何とか形にし、発表することができました。自分は研究よりも現場があっていると痛感した2年間でしたが、どのように学ぶかを学び、ほんの少しですが自分の殻を破ることができた充実感があります。これから作成される方はぜひ苦しいところを楽しんでトライしてみてください。そして、数々のサポートをして下さった皆様、本当にありがとうございました。

学校経営力開発コース 経営力開発分野 伊藤 美香

## 7期生中間報告会を終えて



2月1日(木)、7期生の1年間の学びの成果と、2年目の現任校実習、連携校実習での計画を報告する中間報告会が開催されました。今年度は対面でのポスターセッションとなり、それぞれのブースで活発なディスカッションが行われました。

中間報告会において、自分の研究を一枚のポスターにまとめる作業はすごく難しかったので、出来上がった喜びは大きかったです。そのポスターをもとに、発表ではいろいろな意見交換ができました。質問やアドバイスをもらうことで、新たな課題が見つかったり、自分の研究について批判的に考えたりすることもできました。

大学院に来て、スライド、ポスター、報告書など、作ることだけが目的ではなく、それをもとに質問や意見をもらい、議論し、考え、もっと深めていくことに楽しさを感じるようになりました。この中間報告会のためにご準備いただきました先生方、一緒にお話してきた皆様、ありがとうございました。

学校経営力開発コース 経営力開発分野 大西 春菜



中間発表会で私は初めてポスター形式での発表を行いました。そのためこの感想ではポスター形式を行って感じたプレゼン形式との違いについて述べていきます。

二つの形式を比べて最も違いを感じた点は、ポスター形式では話し手と聞き手との対話の内容が繋がっていると感じたことです。というのも、日常で行われる立ち話で急に話の内容が断ち切らないのと同じように、今回のポスター形式でも立ち話かのような距離感で対話が行われたので参加者全員が話を繋ぎ合えたのだと思います。実際に話し合われた内容を振り返ってみても一つのテーマが深掘られていたように感じました。この経験を活かし、次回の発表会では聞き手としてより積極的にグループでの対話に参加したいと思います。

教育実践力開発コース 教科教育高度化分野 喜多 一貴

編集・発行 三重大学大学院教育学研究科 教職実践高度化専攻(教職大学院)入試広報部会

〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577

✉ info-mkd@edu.mie-u.ac.jp

三重大学教育学部・教育学研究科ホームページ <https://www.edu.mie-u.ac.jp/>